

ふぁーまーず班の活動

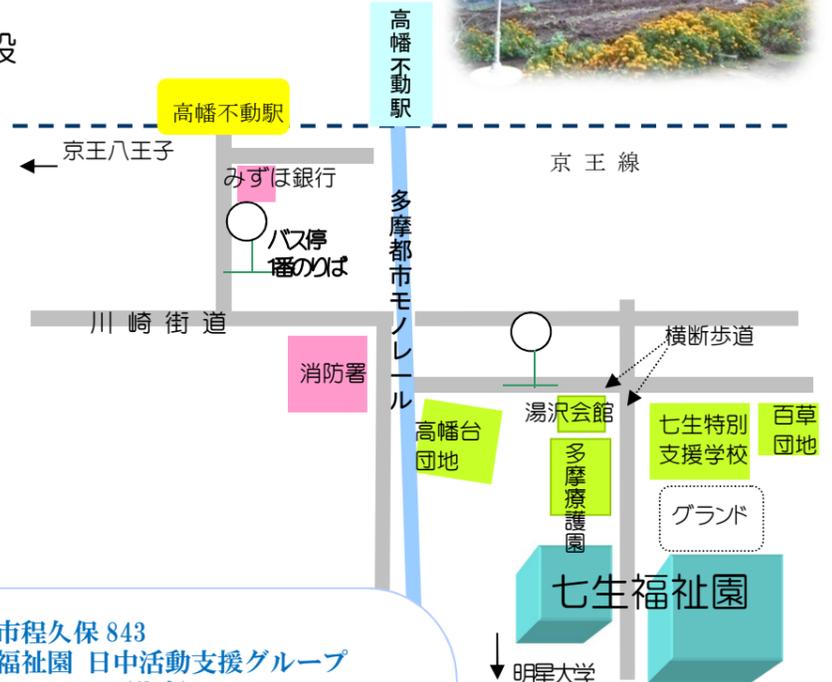


日野市の七生丘陵に囲まれた中に、知的障がい児者の福祉施設『七生福祉園』があります。

ここで暮らしている18歳以上の利用者の多くは日中、活動支援棟へ毎日（平日）通って来て、様々な作業部門で活動しています。

その中のひとつに『ふぁーまーず班』があります。

『ふぁーまーず班』は20名前後のメンバーが、畑では、無農薬・無化学肥料で野菜を栽培し、収穫した野菜を販売しています。市内の花屋さんと契約して不要生花の処理や、園内で採れた果実を使ったジャム作りなど多様な作業に取り組んでいます。多品種の季節の野菜は新鮮で安心・安全、しかも安いので、定評があります。



日野市程久保 843
七生福祉園 日中活動支援グループ
☎042-591-0049(代表)
042-591-0613 (日中活動支援グループ)

年間スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
土作り・耕作	土掘り・バケツで運搬・土ほぐし・腐葉土入れ・土戻し											
腐葉土移し	前シーズンの冬から1年間熟成させた腐葉土を置場に移す											
落葉掻き・集め	七生の丘の雑木林からの落葉を3か所の落葉集積場に集めて1年間寝かせる											

畑作業はたくさんあります。畑を耕し、肥料となる腐葉土を撒き、畝を作り、種をまき、虫に食べられないようにネットをかけて、雑草を取り、間引きを繰り返して強い苗を育てていきます。花が付き、実がなった時はみんなで喜び、収穫が一番の楽しみ



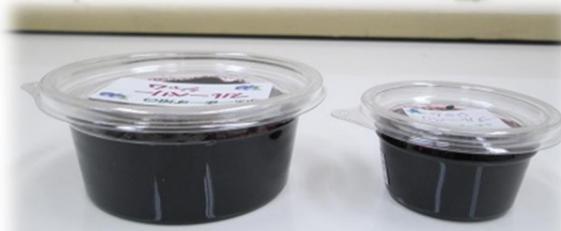
野菜の栽培は2月～11月までです。12月からは冬の作業が始まります。12月中は、その前の冬の1月に森の雑木林から落葉した葉を集めて1年近く熟成させた腐葉土を別の腐葉土置場に移します。3か所の落葉集積場が空っぽになるのに約ひと月かかります。



1月の冬の仕事は落ち葉集めです。森の落葉樹の恩恵を賜り、熊手で丘の上から落ち葉を掻いて降ろしながら、箕で落葉を集積場まで運搬します。このひと月で畑で使う1年分の腐葉土の素を集め、12月まで寝かせます。この腐葉土こそ、美味しい野菜の源です。



園内で採れた果実を使ってジャムを作っています。梅、あんず、ブルーベリー、夏みかんなど種類もたくさん。収穫・製造・販売とどれも楽しい作業です。菓子製造業許可の免許を取得し、園祭や出張販売など一般販売もできるようになりました。



少々の小雨の日も、雨あがりの滑りやすい日も、北風の寒い日も、春1番の風で埃っぽい日も、梅雨のじめじめした日も、真夏の酷暑の日も、汗と土にまみれ、自然と一体になって賑やかに作業しています。

みんなの力で畑の耕しが進み、野菜がスクスクと育っています。

安心・安全・旬の新鮮野菜を生み出し、人々に美味しい幸せを提供しています。